

とよさか

「未来を切り拓く子どもの育成」

～夢いっぱいの子の八田の子～

八田ブロック共通【めざす児童像】

- ・自ら学び、自ら考え行動する子ども
- ・自分を大切に、人を大切にする子ども
- ・健康で、たくましく生きる子ども

令和元年10月1日（火）発行

秋の夜長 子どもと一緒に読書に親しみませんか…？

10月に入り、朝夕涼しくなってきました。先月15日の運動会には、ご来賓の皆様をはじめ、たくさんの保護者や地域の皆様にお越しいただき、子どもたちへの温かい声援をありがとうございました。2週間あまりの短い練習期間ではありましたが、子どもたちは目的を持って日々の練習に取り組み、当日はその成果を十分に発揮しました。子どもたちの一生懸命な姿に大きな感動を受け、大きな成長を感じました。前日準備、当日の運営、そして後片付けと2日間に渡りお世話になりましたPTA役員の皆様、毎日体操着の洗濯やお茶の準備、健康管理など支えていただきました保護者の皆様、たくさんの方々のお支えがあり、運動会を無事終えることができました。ありがとうございました。

さて、秋といえば、食欲の秋、紅葉の秋、実りの秋、読書の秋、行楽の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、様々な秋がイメージできる豊かな季節です。10月の学校朝会では、その中で「読書の秋」について子どもたちに話をしました。

まずは、どうして「読書の秋」と言われるかについてですが、

- 秋は、涼しく過ごしやすい季節で、本を読むのに適しているから。また、他の季節よりも集中力が高くなり、本をより深く読み込むことができるから。
- 秋は、夜が長く本を読む時間が多くとれるから。

などの理由があるようです。また、中国の唐の時代の漢詩の中には「灯火親しむべし」という言葉があり、これは「涼しくて過ごやすく、夜が長い秋は、灯りをともして読書をするのに最適だ。」という意味だそうです。まさしく読書の秋のことを言っています。

読書に関する本校の子どもの実態はと言いますと、全国学力学習状況調査や府学力診断テストの質問紙調査では、「読書は好きですか？」という質問に対して本校の4年生は78%、6年生は59%が肯定的回答をしており、子どもは違いますが、学年が上がるにつれて読書を好きという子どもが減少する傾向にあります。

読書には様々な効果が報告されていますが、その中の1つに豊かな心を育むという効果があります。子どもたちにも、「本は心の栄養。たくさん本を読んで豊かな心を育みましょう。」と話しました。秋の夜長、我々大人も子どもと一緒に読書に親しむ時間をぜひ作っていただきたいと思います。

校長 小嶋 康弘

西八田の小窓

西八田小学校 運動会 全体目標

あきらめるな！ フルパワーの協力フレイ

赤目標：紅に染まれ 全力魂で勝利を目指せ！

白目標：輝け！白組魂 ～勝利の道へレッツGO！～



大変暑い中でしたが、9月15日(日)に晴天のもと、無事に開催をすることができました。

各競技では、体育の学習で培った力を発揮してくれました。特に、1～4年生の「キッズソーラン」、5・6年生の組体操「MIND SHIFT」では、素晴らしい姿を見せてくれ、保護者や地域の方々からも大きな拍手をいただきました。

また、各色の応援では、6年生が中心となって、内容を考え、練習計画を立て、取組を進めました。練習では上手いかないこともあり、悩み、試行錯誤しながら応援を創りあげました。

この運動会を通して、子どもたちはグングン力を伸ばしてくれました。

